

重点プロジェクトの概要

「地域経済循環」プロジェクト

域外から獲得した資金を地域内で循環させ、自立的な経済構造を構築する「地域経済循環」システムの構築に向け、6次産業化推進戦略に基づき、共同利用型の加工施設整備等による地域内の6次産業化、森林資源をマテリアルやエネルギーとして地域内で持続的に活用するための体制整備、製造業の技術力の向上による高付加価値化などにより、地域への還元利益の増加を目指します。また、新たな観光交流推進計画に基づき、食文化・伝統文化等を観光に組み合わせ、複合的な魅力を創出することで、交流人口の拡大と旅行・観光消費の増大を目指します。

地域のリーダー確保対策プロジェクト

地域資源やそこに住む人を知り、郷土に愛着を持つ機会を創出するため、「ふるさと教育」などの地域課題の解決等を通じた探究的な学びを実施するとともに、白鷹中学校および山形県立荒砥高校生徒の海外派遣研修、特色ある英語教育の推進により、グローバルな視野と自信を持った人材を育成することで、郷土への誇りと愛着を持てる「目を世界に、心ふるさと」の白鷹人を育成します。併せて、地域おこし協力隊の起業・定住支援を進め、伝統芸能等の地域の担い手を育成していきます。

出生数増加対策プロジェクト

妊娠期の通院費の助成、不妊治療費用の助成、妊婦健康診査の実施、未熟児養育医療費給付などに加え、子育て世代包括支援センターによる、妊娠・出産・育児に関する様々な相談へのきめ細やかなサポートにより、妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援を実施します。また、婚活サポート委員会による結婚希望者のバックアップや、婚活を意識しない出会いの場の創出等により、晩婚化や結婚離れに歯止めをかけます。これらをセットで実施することで、出生数の増加を目指します。

人口の社会増対策プロジェクト

「職住育近接」実現プロジェクト

新荒砥橋が完成することにより、全町が継ぎ目なく融和します。今後の西廻り幹線道路などの幹線道路網整備、(仮称)山形PAスマートインターチェンジの事業化などによる時間的距離の短縮効果を視野に、住宅整備基本構想に基づく住環境の整備、四季の郷地域に商業施設機能、子ども交流スペース機能を付加するなど面的に整備することにより、職場と住居との時間的距離の短縮化による本町版「職住近接」だけでなく、子育て世代にとって、保育園や学童保育等と住居が近い「育住近接」の性質を併せ持つ「職住育近接」を実現します。

若者回帰対策プロジェクト

UIJターンや新規就農などの移住拡大に向け、移住コンシェルジュ機能により、効果的な情報の発信、空き家バンクを活用した住環境情報の提供などのマッチング、移住後の白鷹暮らしのサポートなど、総合的に支援することにより若者回帰を進めます。併せて、地域外から地域に関わる「関係人口」の拡大に向け、「ヒト・モノ・カネ」の相互交流に資する取組を推進します。

暮らしを守る地域活力UPプロジェクト

それぞれ特色ある地域づくりを行っている各地区コミュニティセンターを拠点として、自主防災組織や消防団と連携した地域防災システムを構築し、公共交通体制の確保のほか、地域の見守り体制や高齢者福祉施設等も含めた地域包括ケアシステムを推進し、町民がいきいきと健康的で安全・安心な住み良い町をつくります。人生100歳時代を迎え、町民が健康でいきいきとした生活を送れるよう健康寿命の延伸に取り組み、活躍の場を創出します。また、再生可能エネルギーの利用促進、環境や景観の保全により、地域資源を活用した持続可能なまちづくりを推進します。



第6次白鷹町総合計画 前期基本計画を策定しました

町では、将来像を「人、そして地域がつながり 輝き続ける 潤いのまち」として掲げ、昨年度策定した今後10年間のまちづくりの基本的な方向を定めた「第6次白鷹町総合計画基本構想」に基づき、この度、「第6次白鷹町総合計画前期基本計画」を策定しました。

この前期基本計画では、特に、4つの施策の柱「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」をベースとしつつ、個々につながり循環する6つの重点プロジェクトを位置付け、推進していきます。

また、近年の若者の顕著な町外転出や、低位で留まる合計特殊出生率の傾向を踏まえつつ、改めて人口の自然増減目標と社会増減目標を更新することで、引き続き、平成27年度策定の人口ビジョンで設定した将来人口目標（2040年：10,500人程度）を目指していきます。

◆計画期間 令和2年度～令和6年度

重点1. 人づくり

将来地域を支える人材を育成しつつ、若い世代の結婚や子育ての希望を実現するため、子育て世代の夫婦がともに仕事と子育てを両立でき、安心して出産、子育てができる環境整備を図ります。

重点2. 定住化

新たな人の流れを形成するため、移住にかかるサポート体制の拡充等を進めていきます。また、地域外から地域に関わる「関係人口」の拡大に向けた取組の実施などにより、総合的に定住化を進めていきます。

施策イメージ



重点3. 産業・経済

白鷹らしい産業の振興に向けた取組を実施しつつ、農業者が他産業等と連携し、特色ある資源の活用を図り取り組む6次産業化や農工商連携の促進により、稼げる産業の振興を図ります。

重点4. 地域力

各地区コミュニティセンターを地域の拠点として、特性を生かしたそれぞれの地域づくりを促進、地域の担い手の育成・確保を進めていきます。危機管理体制やきめ細やかな除雪体制の確保、道路交通網の整備促進、住宅整備基本構想に基づく住環境の整備を図るほか、再エネの利活用による環境に配慮した社会形成、高齢者、障がい者への思いやりのある福祉環境を充実していきます。

(注) Society (ソサエティ) 5.0…サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会

AI…人工知能
IoT (Internet of Things) …様々な「モノ」がセンサーと無線通信を介してインターネットの一部を構成する「モノのインターネット」を指す。